

令和5年度 芹が谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

坂の多い地域ですが、スーパーなどの商業施設は住宅街としては整備されており、片道15分程度の歩行が可能であれば、自力での買い物が可能な環境となっています。高齢化率の上昇速度は緩やかになってきていますが、75歳以上の後期高齢化率の上昇が顕著な状況が続いています。生活を支えるために必要な片道15分程度の歩行を維持していくためにフレイルの予防や改善や閉じこもりを予防するための居場所づくりが課題となります。地域のコミュニティへの支援や医療機関、福祉施設との連携をすすめていきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

3つの町内会館を活用した、0歳児の保護者と子どもを対象とした、「あかちゃんひろば」の開催が継続できるように5職種で連携して支援を行う。

第4期地域福祉保健計画の話し合いの場を設け、テーマ設定し、住民が主体となって振り返りをする場を構築する

集合住宅を対象とした介護予防講座を、介護予防普及啓発事業として1回行う。

港南区社会福祉士分科会で港南区内の居宅介護支援事業所に後見制度や高齢者虐待防止法の講座を行っている

コロナ禍で中止していた芹が谷地域ケアプラザ祭りを再開し、児童から高齢者まで幅広い世代に周知を図る。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・3つの町内会館を活用した、0歳児の保護者と子どもを対象とした、「あかちゃんひろば」の開催が継続できるように5職種で連携して支援を行った。延べ11人の子どもの参加があり、若い世代へのケアプラザ周知を行う事が出来た。
 ・第4期地域福祉保健計画の話し合いの場を設け、テーマ設定し、住民が主体となって振り返りをする場を設けられるよう、支援を行った。結果、各地区での支えあいネットワークや、定例会終了後など自主的に話し合いを進められている。
 ・連合未加入の集合住宅である、上大岡セントラルハイツにて、介護予防普及啓発事業を開催することができた。情報が伝わりにくい連合未加入の地域に、ケアプラザや介護予防の大切さ等の周知を図ることが出来た。
 ・港南区社会福祉士分科会で港南区内の居宅介護支援事業所に後見制度や高齢者虐待防止法の講座を行った。
 ・コロナ禍で中止していた芹が谷地域ケアプラザ祭りを6月3日開催。全体で約200名の参加があった。また、ケアプラザ祭りで開催したウォークラリーでは50名の子ども参加があり、子どもから高齢者まで幅広い世代に周知を図ることが出来た。

□ 区からのコメント

今年度の事業計画の具体的な取組のうち4/5は新規事業と、積極的に新しいことに挑戦していただきました。また、それぞれの目標の達成に向けて着実に事業を推進していただきありがとうございます。連合未加入の地域で介護予防普及啓発事業を開催したり、ケアプラザ祭りを開催したりすることで、普段ケアプラザと関わる機会が少ない地域や層とつながる機会となりました。今後も、地域の身近な相談者として、必要な人に必要な情報が届くよう取組を進めていただければと思います。

今年度も厳しい職員体制となりましたが、迅速かつ丁寧な相談対応はもちろんのこと、エリア内の事業所と協力したスタンプリーの開催や新たなツールを活用した福祉事業所での居場所の開催支援、隣接の医療機関での事業の開催、隣接他区のケアプラザとの地域ケア会議の合同開催など、5職種で連携して幅広い視野をもちながら事業展開を行っていただいています。特に、他ケアプラザとの合同での地域ケア会議は、区内でも新しい取組であり、また、その後の展開を意識してコーディネーター中心に会議を進行するなど、他のケアプラザにも良い刺激を与えています。引き続き、5職種で連携しながら地域づくりを進めていただくことを期待します。